

令和元年度 事業報告について

能美市シルバー人材センターは、地域に貢献する組織として、地域の家庭や企業、公共団体などから発注を受け、中長期計画に基づく活動を進めています。

しかし、人材不足に伴う定年延長などにより、入会年齢が高くなる傾向があるなか、会員の確保・拡充が課題となっています。

人生100年時代に向けて会員の増加が全国的に求められ、能美市シルバー人材センターでも啓発活動やイベントの開催、会員による入会者の紹介を促すなどに加えて、ハローワーク小松と連携し職業相談に訪れた適齢の方を対象に入会説明をその場で行い、会員確保につなげていく取り組みを新たに行うなど、シルバー人材センターを多くの方々にとって戴くよう進めてきたところであり、会員同士の情報発信のため「シルバーだより」を昨年度も2回発行し、全会員に配布いたしました。

本年度の受託事業実績は受託件数で2,486件となりました。就業延人数は36,211人で3.8%減、就業率は80.6%で前年比1.4%増加しました。

契約金額は1億3,590万円余りで、内訳は公共関係で約3,782万円、民間事業所で約5,809万円、一般家庭で約3,855万円、独自事業で約143万円となり、対前年度約128万円の減額となりました。

一般労働者派遣事業においては、契約件数287件で、就業延人数は13,399人、契約額は5,619万円余りとなりました。内訳では公共関係で約3,295万円、民間事業所で約2,324万円となりました。今後も適正な就業を念頭に引続き努めていく必要があると考えています。

会員の働きやすい環境と安全性を高めるために職群班との連絡調整にも配慮しながら円滑な運営に努めました。

会員数については、前年度末424名に対し、令和元年度末は423名と1名（男1名増加、女2名減少）減少しました。会員全体の平均年齢は73.7歳と前年度に比べ若干上がっています。男女別では男性が74.0歳、女性が73.3歳で、会員の最高年齢は88歳です。粗入会率は市の60歳以上の人口15,453人に対し2.74%となっています。

以下、事業実施状況の概要を報告いたします。

1. 会員の加入状況

単位：人

区 分	男	女	計	摘 要
平成31年3月31日	259	165	424	
中途入会者数	29	25	54	
中途退会者数	28	27	55	
差引き増減	1	△2	△1	
令和2年3月31日	260	163	423	対前年1人減

(地区別会員数)

単位：人

区 分	男	女	計	摘 要
根上地区	100	89	189	
寺井地区	86	45	131	
辰口地区	74	29	103	
計	260	163	423	

2. 受託事業の実績

単位：円

区 分	令和元年度	平成30年度	差 引	前年度比
受注件数 (件)	2,486	2,458	28	1.1%
就業延人数 (人)	36,211	37,625	△1,414	△3.8%
契約金額 (円)	135,908,261	137,191,187	△1,282,926	△0.9%
就 業 率 (%)	80.6	79.5	1.1	1.4%

(契約金額の内訳)

単位：千円

区 分	令和元年度	平成30年度	差 引	前年度比
公 共	37,820	37,369	451	1.2%
民間事業所	58,093	61,231	△3,138	△5.1%
一般家庭	38,559	36,566	1,993	5.5%
独自事業	1,436	2,025	△589	△29%
合 計	135,908	137,191	△1,283	△0.9%

3. 一般労働者派遣事業の実績

単位：円

区 分	令和元年度	平成 30 年度	差 引	前年度比
契約件数（件）	287	292	△5	△1.7%
就業延人数（人）	13,399	14,415	△1,016	△7.0%
契約金額（円）	56,199,732	57,297,434	△1,097,702	△1.9%

（契約金額の内訳）

単位：千円

区 分	令和元年度	平成 30 年度	差 引	前年度比
公 共	32,958	30,208	2,750	9.1%
民間事業所	23,241	27,089	△3,848	△14.2%
合 計	56,199	57,297	△1,098	△1.9%

4. 安全・適正就業の徹底

（1）会員の安全・適正就業の向上を図るため、安全委員会を中心に会員への安全就業への周知、会員が作業中のところへのパトロールを実施し、安全への点検を実施しました。また、加賀市管内での県連合会との合同の現場巡回パトロールにも参加しました。

安全標語の募集については14人の会員から34点の応募作品があり、安全委員会で審査の結果、優秀作品5点を県シルバー連合会へ提出しました。

（2）マイクロバス安全運転研修会の実施

マイクロバスを運転する場合、加齢によって生ずる体力の衰えが反射神経や動体視力等に影響します。不注意、油断等に起因する事故を防止するために、七尾自動車学校の教官を講師に迎え、人的輸送業務に携わる会員3名が安全運転研修を受講しました。

（3）事故発生件数

事故件数は14件でした。

重篤な状況にならなかったものの、少しの気の緩みで重大な結果になりうる事故もあり、無理せず、安全を確認して作業に携わることに心掛けていくことが重要であります。事故件数の上位を占める蜂刺されなどには、十分注意しながら事前の安全確保をしながら作業にかかるよう注意喚起をしました。

事故発生件数	
傷害保険事故	3件
賠償責任保険事故	6件
その他事故	5件

5. 普及啓発活動の推進

シルバー人材センターの啓発宣伝とボランティア活動を兼ねて下記の活動を実施しました。

- (1) 能美市の各地区で開催されたスポーツフェスティバルにおいて、会員、事務局職員が啓発用ティッシュを配布しました。
- (2) 市の広報誌による会員募集などで市民に周知しました。
- (3) 恒例となりました「感謝祭イベント」をシルバー人材センター前広場で開催しました。市の協力で事前の宣伝効果もあり、多くの市民の皆様にご来場いただき、独自事業で栽培した「加賀丸いも」やゆず同好会が収穫したゆず、会員が育てた野菜の直販を行いました。また、会員による丸いも入りつきたて餅や、丸いも入り豚汁を振る舞いました。
 次回の開催に向け、会員みなさんでより良いイベント開催ができるよう実行委員会を通じて検討し、効果のあるイベントが開催できるよう努力していきます。
- (4) 12月27日、各地区会員が門松づくりを行い、市役所本庁舎、能美警察署、能美消防本部、根上総合文化会館、寺井地区公民館、辰口福祉会館、里山の湯、物見山体育館、クアハウス九谷の9カ所に門松を設置しました。新聞記事にも取り上げられ、センター事業の啓発とPRに効果がありました。
- (5) 能美市の地域振興作物のひとつである「国造ゆず」は、主な生産団体である国造ゆず生産組合が後継者の人材不足等が課題で安定的な生産につながっていないことから、シルバー会員有志による同好会が市農林課と連携しながら生産組合の下支えを図っているところです。
- (6) 4月から毎月第2・第4金曜日に、ハローワーク小松において会員勧誘を兼ねて事務局職員が出張相談を行い、相談件数は41件となりました。

6. 独自事業「加賀丸いも」栽培の実施

加賀丸いも栽培は、40アールの作付け分の収穫を終えました。

丸いも出荷量はJA根上へ2,055kg、個人・団体の顧客には1,351kgを販売し、ほぼ全収量を完売することが出来ました。売上額は1,638,080円となりました。

7. 就業機会の拡大

地理的表示保護制度（GI）に登録された「加賀丸いも」による地域就業機会創出・拡大事業として、休耕田での丸いもの自主栽培や栽培農家の人手不足を担っていくことを目指す国の事業として取り組み、JAと連携し品質の向上と収量の拡大に努めました。

高齢者の雇用・就業機会の確保を図るための方策の一つとして、55歳以上で就業意欲のある人を対象に「技能講習会」を県連合会と連携して能美市寺井地区公民館で実施しました。

講習会等名	実施日	日数	受講者数
ガーデニング講習	9月19日～9月20日	2日	10名

尚、技能講習を受けたものの就職できなかった受講者に対しシルバー会員登録をお願いするなど勧誘活動も行ないました。